

# 設楽発掘通信

No.30  
平成29年  
9月号

## マサノ沢遺跡の地元説明会を開催します

今年の七月よりマサノ沢遺跡の調査を開始しました。昨年度の  
範囲確認調査では縄文時代の炉跡を含め土器や石器などが確認されまし  
た。遺跡の発見は、弥生時代前期のお墓「土器棺墓」をはじめ縄文土器  
や石器が見つかった百年ほど前の開墾にさかのぼります。

今年度より本格的な発掘調査を開始し、これまでに縄文時代後期（今  
から約四千年から三千年前）、縄文時代晩期終末から弥生時代前期（今  
から約二千五百年前）の土器や石器がまとまって出土しています。

つきましては、下記の通り十月二十八日（土）の午前十一時より、地  
元説明会を開催することになりましたのでご案内いたします。

どうぞよろしくお願いいたします。

（愛知県埋蔵文化財センター 永井宏幸）

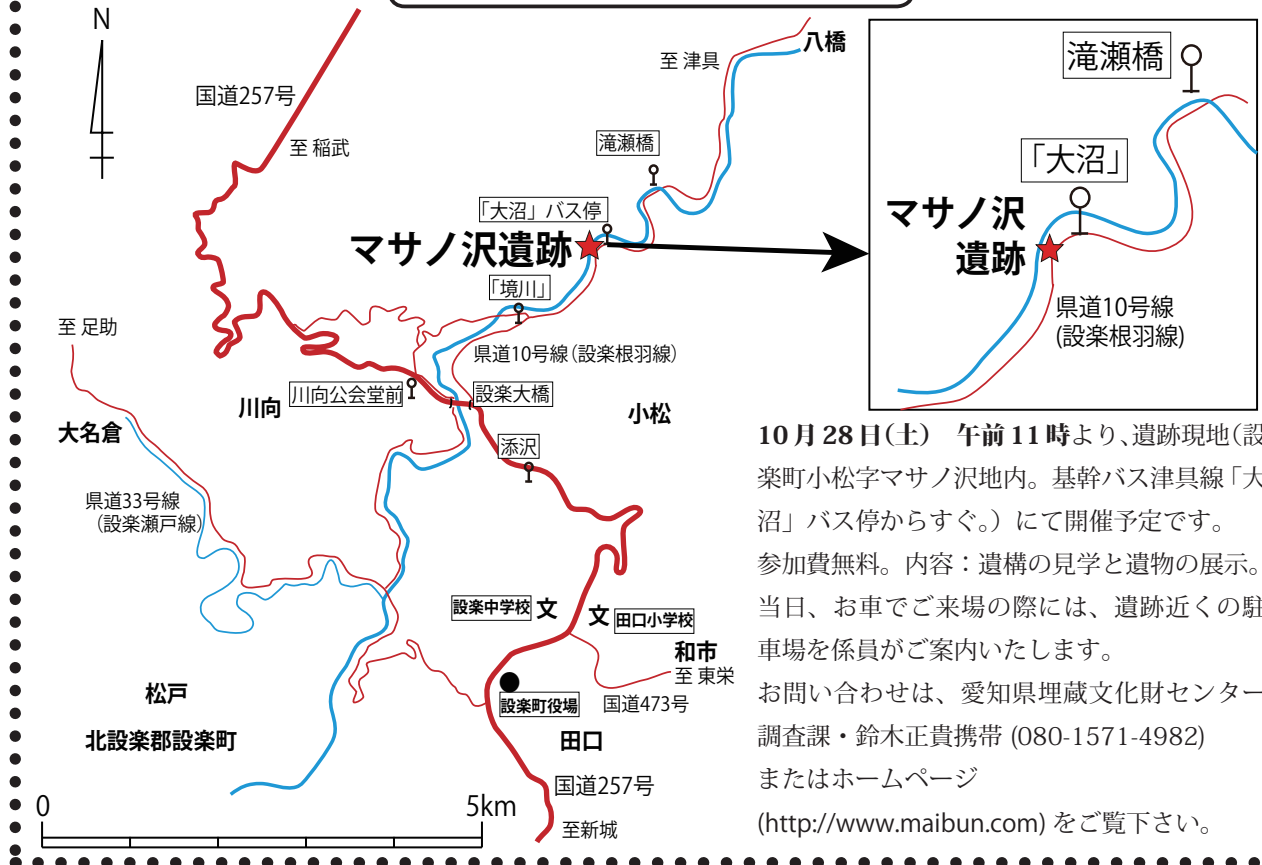


遺構の掘削風景



多くの遺物が出土しています

### マサノ沢遺跡 地元説明会のご案内



10月28日(土) 午前11時より、遺跡現地(設楽町小松字マサノ沢地内。基幹バス津具線「大沼」バス停からすぐ。)にて開催予定です。参加費無料。内容：遺構の見学と遺物の展示。当日、お車でご来場の際には、遺跡近くの駐車場を係員がご案内いたします。お問い合わせは、愛知県埋蔵文化財センター調査課・鈴木正貴携帯 (080-1571-4982) またはホームページ (<http://www.maibun.com>) をご覧下さい。



### 西地・東地遺跡の整理調査

弥富市にある埋蔵文化財センターでは、平成二十六・二十八年度に発掘調査を実施した、大名倉地区にある西地・東地遺跡出土遺物の整理調査を行っています。室内で行う整理調査では発掘調査で明らかになったことを整理すると同時に、出土遺物を分析し記録を取ります。この整理調査を経て、調査成果を広く活用して頂けるように報告書が作成されます。現在、遺物の分析をするために、分類・接合・復元・図化・写真撮影などの作業を進めています。ここでは、これまでの整理調査で明らかになったことについて、お知らせします。

#### 縄文時代

西地・東地遺跡から出土した縄文時代の遺物には、土器・土製品（土器以外の焼き物）・石器（実用的なもの）・石製品（装身具やお祭りなどで使用するもの）があり、すべての分類作業を行いました。縄文土器の中で時期が確認できそうなものは二千八百点ほどあり、縄文時代早期前半から弥生時代前期まで（今から九千年前～二千五百年前頃）の土器が確認されています。このうち、中期後半から後期初頭（今から五千年～四千四百年前頃）に属するものが二千



写真 a 西地・東地遺跡出土縄文土器

点ほど（全体の約七割）と最も多く、残りの良い大型破片や復元できる土器もこの時期のものが主体となっています。土製品には、縄文時代後期以降（今から約三千八百年前以降）の環状の耳飾りがあります（写真c）。

石器・石製品の分類作業も行っています。この遺跡から出土した石器の総計は二千四百点ほどです。ここから中世以降の砥石・台石などを除外すると、縄文時代の石器は約二千点ほどになります。このなかの約千五百点は石器を作る時にできる剥片や石核で、残りの五百点ほどが縄文時代に道具として使用されたものです。最も多いものが磨石や敲石で、ドングリ類の加工などに使われたものと考えられます。また、石製品には石棒のように使用された棒状礫や、縄文時代前期（今から約六千年前頃）の玦状耳飾りなどもあります（写真c）。

土製や石製の耳飾りは、土器片および遺構が最も多く確認された縄文時代中期後半から後期初頭のものとは時期が異なるようです。このような装身具の出土から、西地・東地遺跡は長い縄文時代の中にヒトが繰り返し活動を行った舞台となっていたことがわかります。今後の西地・東地遺跡の整理調査を通じて、縄文時代のヒトの活動をさらに明らかにしたいと考えております。

（愛知県埋蔵文化財センター 川添和暁）



写真 b 西地・東地遺跡出土石匙



写真 c 西地・東地遺跡出土耳飾り  
【左：環状、右：玦状 縮尺約 1/2】

#### 中世から近世にかけて

西地・東地遺跡では平安時代・鎌倉時代・室町時代・戦国時代・江戸時代の陶磁器や土器なども出土しました。この時期には、地面に穴を掘って柱を立てる掘立柱建物や炉跡などの遺構が発見されています。

これらの出土遺物を分類しながら調査を進めていくと、十五世紀から十七世紀の製品が他の時期に比べて多く出土していることが、改めて明らかになりました。

写真dは十七世紀に生産された陶器で、左上の二点が天目茶碗、左下が志野小皿、右上が黄瀬戸大皿、右下二点が鉄釉小皿です。ほとんどが瀬戸窯または美濃窯で焼かれた製品です。写真の他、同じ時期の出土遺物は素焼きの土鍋や常滑焼などもみられます。

写真eは十六世紀に生産された焼き物で、上の三点が瀬戸窯か美濃窯の灰釉小皿、中央下が常滑窯で生産された大甕の上端部の破片、右下が土師器（素焼き）の内耳鍋、左下が土師器小皿です。土師器を細かく観察すると、内耳鍋は西三河でよく見られる形、小皿は東三河でよく見られる作り方であることが



写真 d 西地・東地遺跡出土 17 世紀の陶器



写真 e 西地・東地遺跡出土 16 世紀の陶器・土器



写真 f 西地・東地遺跡出土 14～15 世紀の陶磁器



写真 g 西地・東地遺跡出土静岡県産の陶器？

わかりました。

写真fは十四～十五世紀に生産された陶磁器で、中央上が中国浙江省にある龍泉窯で生産された青磁蓮弁紋碗です。その他のものは全て瀬戸・美濃窯陶器で、左上二点が鉄釉四耳壺、左下が灰釉四耳壺、中央下二点が播鉢、右上二点が灰釉平碗です。この他に、写真にはありませんが、南伊勢で作られたと推定される素焼きの土鍋（南伊勢系鍋）なども出土しています。

このような瀬戸・美濃・常滑の焼き物が多いという傾向は、愛知県の中世・近世遺跡ではよくあるパターンですが、西地・東地遺跡では写真gの静岡県産と思われる製品が目立ちます。左列は灰釉小皿類、中央列は播鉢、右列は鉄釉碗で、瀬戸や美濃の製品ではなさそうです。これらは島田市金谷の志戸呂焼や浜松市北区細江の初山焼の製品である可能性があり、今後さらなる調査が必要そうです。

このように、中世から近世にかけて設案には様々な地方から焼き物などが運ばれてきたことがわかってきました。

（愛知県埋蔵文化財センター 鈴木正貴）



## おおはた 大畑遺跡の発掘調査

大畑遺跡の調査は、東側の斜面部分が完了し、おおよそ調査区の半分の発掘が完了しました。前号報告した石囲炉のある竪穴建物<sup>たてあなたてもの</sup>を完掘し、石囲炉や、竪穴建物全体の姿が明らかになりました。床面からは屋根を支えた柱の跡も見つかっています。その他に、調査区の中央付近で、直径1m程度の陥し穴が四基見つかりました。三基はほぼ同じ標高で、等間隔<sup>とうかんかく</sup>に掘られていました。動物の動きを封じる杭の跡や、時期を特定する遺物は見つかりませんでした。昔の人たちが、ここでイノシシなどを獲っていたのかもしれない。また、調査区の北端で直径約二・五mの円形の竪穴建物が見つかりました。現在、調査区で見つかっている遺物は、土器片や、陶器片、石鏃<sup>せきぞく</sup>、打製石斧<sup>だせいせきふ</sup>、磨製石斧<sup>ませいせきふ</sup>などがあります。

調査も中盤に差し掛かり、ラジコンヘリを飛ばし、空中写真撮影を行います。それによって、調査区内の遺構などの状況だけではなく、遺跡の立地がわかる写真も撮影します。撮影後、残り半分の調査区を調査していきます。また新たな遺構や、遺物が見つかることが期待されます。  
(株式会社二友組<sup>にゆうぐみ</sup> 高木祐志<sup>たかぎゆうじ</sup>)



陥し穴の発掘風景



石囲炉のある竪穴建物の完掘状況



石囲炉の拡大写真

## マサノ沢遺跡の調査

マサノ沢遺跡の調査は、七月初旬から始まりました。現在は二つに分けた調査区のうち、北側のA区の調査を行っています。遺跡の全体像はまだ見えていませんが、多量の遺物が出土しています。土器も出土していますが、特に土器が目立ちます。

土器は縄文時代晩期終末<sup>ばんき</sup>から弥生時代前期<sup>やよい</sup>ごろ(約二五〇〇年前)のものが中心となっています。石器も土器と同時期のものと考えられます。石器の種類は多岐にわたりますが、中でも多く見られるものは、石鏃(矢じり)や打製石斧(土掘り具)、磨製石斧(伐採具)などです。また、石器製作の際に出る細かい剥片<sup>へん</sup>も多量に出土していることから、集落<sup>しゅうらく</sup>遺跡の存在をうかがわれます。

調査はこれから本格化しますが、出土遺物はすでに良いものがたくさん出土しています。次号以降もご期待ください。

(株式会社二友組 岩瀬大輔<sup>いわせだいすけ</sup>)



石鏃

# 設楽発掘通信

No.30

平成29年9月号

編集・発行

公益財団法人愛知県教育・スポーツ振興財団

愛知県埋蔵文化財センター

〒498-0017 愛知県弥富市前ヶ須町野方802の24

電話 (0567)67-4161【管理課】 4163【調査課】

ホームページ <http://www.maibun.com>

Facebook <https://www.facebook.com/maibunaiichi>

Twitter [https://twitter.com/aichi\\_maibun](https://twitter.com/aichi_maibun)

印刷・協力

株式会社二友組